

2025^{ねん}年4^{がつ}月

民俗 — No. 30

けんぱくものしりシート

アワビカギ



■アワビカギってなに？

これは、アワビを採^とるための専^{せん}用^{よう}の道^{どう}具^ぐです。
ふね^の舟^のに乗^{つか}ったまま使^{つか}うため、○の部^ぶ分^{ぶん}を長^{なが}い
さおに取^とり付^つけま^すす。



いわてけん^{えど}岩^じ手^{だい}県^{てんねん}は江^{てんねん}戸^{てんねん}時^{てんねん}代^{てんねん}から、天^{てん}然^{ねん}ア^{てん}ワ^{ねん}ビ^{てん}（エ^{てん}ゾ^{ねん}ア^{てん}ワ^{ねん}ビ）
の産^{さん}地^ちと知^しら^れてい^ます。



■^け気^{せん}仙^ち地^{ほう}方^{だいひょう}を代^ぎ表^{ようようぐ}する漁^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}労^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}用^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}具^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}「ア^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}ワ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}ビ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}カ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}ギ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}」：大^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}船^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}渡^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}市^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}三^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}陸^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}町^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}綾^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}里^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}をはじ
めとする^け気^{せん}仙^ち地^{ほう}方^{だいひょう}で作^{つく}られたア^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}ワ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}ビ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}カ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}ギ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}は「^けケ^{せん}セ^ちン^{ほう}カ^{だいひょう}ギ^{ぎようようぐ}」とも呼^よばれ、^け気^{せん}仙^ち地^{ほう}
方^{だいひょう}を代^ぎ表^{ようようぐ}する漁^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}労^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}用^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}具^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}のひ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}と^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}つ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}と^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}な^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}っ^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}て^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}い^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}ま^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}す。

■ア^{たんじょう}ワ^{いわてけんえんがんぶ}ビ^{かいすいおん}カ^{ひく}ギ^{ひと}の誕^{うみ}生^{もぐ}：岩^{たんじょう}手^{いわてけんえんがんぶ}県^{かいすいおん}沿^{ひく}岸^{ひと}部^{うみ}の海^{もぐ}水^{もぐ}温^{もぐ}は低^{もぐ}く、人^{もぐ}が海^{もぐ}に潜^{もぐ}ってア^{もぐ}ワ^{もぐ}ビ^{もぐ}
を^て手^とで採^{りょう}る漁^{てき}には適^{ふね}して^{うえ}い^{りょう}ま^{りょう}せん。そ^{りょう}こ^{ひろ}で、^{おこな}舟^{おこな}の上^{おこな}で漁^{おこな}が^{おこな}で^{おこな}き^{おこな}る^{おこな}ア^{おこな}ワ^{おこな}ビ^{おこな}カ^{おこな}ギ^{おこな}
漁^{おこな}が^{おこな}広^{おこな}く^{おこな}行^{おこな}わ^{おこな}れ^{おこな}る^{おこな}よ^{おこな}う^{おこな}に^{おこな}な^{おこな}り^{おこな}ま^{おこな}し^{おこな}た^{おこな}。

1897（明^{めい}治^じ30）年^{ねん}こ^{りょうりむら}ろ^{げんざい}に^{おおふなとしさんりくちょうりょうり}は、綾^{くまがい}里^{くまがい}村^{くまがい}（現^{くまがい}在^{くまがい}の^{くまがい}大^{くまがい}船^{くまがい}渡^{くまがい}市^{くまがい}三^{くまがい}陸^{くまがい}町^{くまがい}綾^{くまがい}里^{くまがい}）の熊^{くまがい}谷^{くまがい}
文^{じょうのすけし}之^{てつ}助^{てつ}氏^{てつ}が鉄^{つよ}よ^{きんぞく}りも強^{こうてつ}い金^{つか}属^{つか}（鋼^{つか}鉄^{つか}）を^{つか}使^{つか}ってア^{つか}ワ^{つか}ビ^{つか}カ^{つか}ギ^{つか}を^{つか}作^{つか}る^{つか}技^{つか}法^{つか}を^{つか}生^{つか}み^{つか}
出^だし^だま^だし^だた^だ。そ^だの^だ結^だ果^だ、ア^だワ^だビ^だの^だ身^だを^だ傷^だ付^だけ^だる^だこ^だと^だなく^だ生^だきた^だま^だま^だつ^だか^だま^だえ^だる^だ
こ^だと^だが^だで^だき^だる^だよ^だう^だに^だな^だり^だま^だし^だた^だ。そ^だの^だ後^だ、鋼^ご鉄^{こうてつせい}製^ごの^ごア^ごワ^ごビ^ごカ^ごギ^ごは^ごと^ごて^ごも^ご質^ごが^ご良^ご
い^ご道^ご具^ごと^ごして^ご知^ごら^ごれ^ごる^ごよ^ごう^ごに^ごな^ごり^ご、現^{げんざい}在^{ぜんこくかくち}で^{しゅつか}も^{しゅつか}全^{しゅつか}国^{しゅつか}各^{しゅつか}地^{しゅつか}に^{しゅつか}出^{しゅつか}荷^{しゅつか}さ^{しゅつか}れ^{しゅつか}て^{しゅつか}い^{しゅつか}ま^{しゅつか}す。

■岩手県のアワビ漁

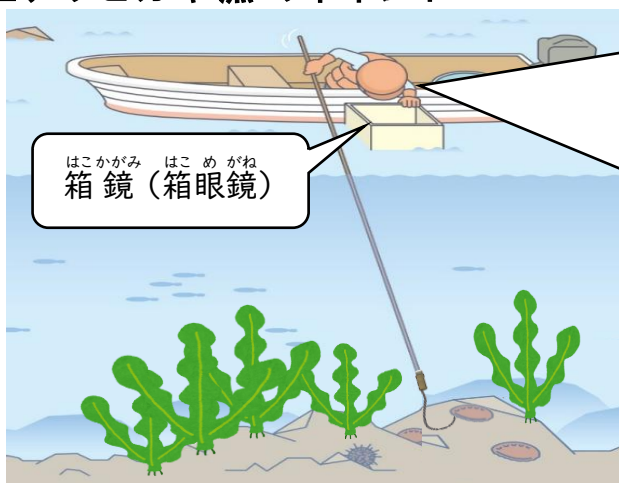
と ほうほう おも 採る方法（主に2つあります）

- ・ 舟の上から採る方法：下のイラストのように、カッコやサッパという小型
ぶね うえ はこかがみ き ばこ そこ はこめ がね つか うみ なか
舟の上から箱鏡（木箱の底にガラスをはめた箱眼鏡）を使って海の中をの
ぞき、岩のすき間などにひそむアワビをアワビカギで引き上げます。
- ・ 海に潜って採る方法：人が海に潜り、アワビを手で採る 昔 ながらの方法
うみ もぐ と ほうほう ひと うみ もぐ て と むかし ほうほう
で、今も岩手県北部で行われています。

と じ き 採る時期

アワビは地域によって漁ができる時期が決められています。岩手県では
11月から翌年にかけて、波のおだやかな日にいっせいに漁を解禁する「口
あ ほうほう おこな
開け」という方法が行われています。アワビの資源保護に努めているの
で、岩手県のアワビ漁かく量は20年以上にわたり日本一となっています。
しかし、海が荒れると漁に出られない日が続くこともあります。

■アワビカギ漁のポイント



わざ けいけん ひつよう 技と経験が必要！

- ・ アワビを見つけて採って良い
おお はんたん め
大きさを判断する“目”
- ・ 道具を操る“腕力”
どうぐ あやつ わんりよく
- ・ 潮の流れを利用してアワビを
しお なが りよう
引き上げる“技”
ひ あ わざ
- ・ くり返しの作業を行う
かえ さぎよう おこな
“ねばり強さ”
つよ



引用・参考

岩手県立博物館 1983年『ひとつの資料から 民俗-33 あわびかぎ』/岩手県立博物館 2015年『岩手県立博物館研究報告 第32号』他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は
はつこうどうし
発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が
かいせついいん
執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPIにてバックナンバー公開中！

けんぱくものしりシート

『あわびかぎ』

2025 年 4 月発行 民俗—No.30

■参考文献

- ・岩手県立博物館 1983 年『ひとつの資料から 民俗-33 あわびかぎ』
- ・岩手県立博物館 2015 年『岩手県立博物館研究報告 第 32 号』
- ・農林水産省ホームページ <https://www.maff.go.jp>
- ・岩手県ホームページ <https://www.pref.iwate.jp>
- ・岩手県水産技術センターWeb <https://www2.suigi.pref.iwate.jp>
- ・岩手県漁連のホームページ <http://www.itgyoren.jf-net.ne.jp>